

安全運転（5号）



新潟地方交通共済協同組合
(発行) 事故防止対策室

〔運行管理者・運転者の皆様へ〕

○ 5月末現在の事故発生状況

	追 突	バック	交差点	衝 突	接 触	その他	合 計	新 潟	山 形	秋 田	構内事故
R8年度	6	21	6	31	17	4	85	40	26	19	37
R7年度	7	16	4	19	19	7	72	39	23	10	33
対 比	△ 1	5	2	12	△ 2	△ 3	13	1	3	9	4

※ 県別、構内事故数は内数

- 5月末現在、85件(前年同月比+13件)の発生報告がありました。
事故の内訳を見ると**衝突事故が対前年同月比で12件増加と最も多く、地区別では3県共に増加しました。**
特に秋田地区の事故は、対前年同月比で9件増加しており、そのうち実に7件を衝突事故が占めております。
- 5月単月の類型別として、進路変更に伴う衝突事故が最も多く、死角の見落としが原因と考えられる事故が多い
ため、①合図を出して3秒待つ ②次に移動したい方向のドアミラーを確認する ③ミラーに映らない右斜め後ろ
の死角を目視で直接振り向いて安全を再確認する それから進路変更するようお願いいたします。

○ トラック運転手の熱中症対策

- ① こまめな水分・塩分補給 「喉が渇いた」と感じた時点で、すでに脱水が始まっている可能性があります。
1時間あたりコップ1杯(約200ml)を目安に、こまめに水分と塩分を補給してください。
- ② 車内温度管理はエアコン24℃～26℃でキープ エアコンは24℃～26℃に設定し、熱中症防止のため、停止
中も必要に応じてエアコンを使用してください。また、状況に合わせてエアコンをかけたまま換気を行い、車内の
空気を適切に保ちましょう。
- ③ 1～2時間ごとに10～15分の休憩 「あと少しだから」という油断が一番危険です。長時間運転を避けて1～2時
間ごとに必ず10～15分の休憩を確保してください。
- ④ 冷却グッズをフル利用 ネッククーラー・冷感シャツ・接触冷感インナー・冷却タオル・クールリング・携帯扇風機
など、状況に応じて組み合わせて使用し、効果的に体温調節を行ってください。
- ⑤ 出先での体調報告 単独行動になりがちな運転手は、出先での状況を周囲
が把握しづらくなります。一例として☑出発時☑休憩時☑帰庫前など、LINE
等での体調報告を徹底し、配車係との「無事チェック」の仕組みを作るなど情
報を共有してください。
- ⑥ 熱中症の症状を覚える 熱中症は早い段階で気づいて対処することが最も
重要です。右表の初期サインを見逃さず、重症化(意識消失、転倒、事故)を
未然に防ぎましょう。

レベル	症状	対応
軽度	めまい 立ち眩み 大量の汗	すぐに涼しい場所へ移動 し衣服をゆるめる
中度	頭痛 吐き気 だるさ	運転を中止し首・脇・足 の付け根を冷やし水分・ 塩分を補給
重度	意識がもうろ うけいれん 汗が止まる	すぐに救急車を呼び 速やかに冷却を開始し 水分は無理に飲まない

○ 「QRコードで安全運行」動画を配信中です

2年目に突入しましたが、引き続きより多くの方にご視聴いただきたい状況です。ゆとりを持った運転を行う為、
ぜひご視聴いただき、事故防止にお役立てください。

※ 当組合では組合員様のもとへ訪問しての講習会を行っております。
ぜひお声掛けください。

連絡先:新潟地方交通共済協同組合 甲斐・石井・長谷川
電話025-284-9555



※上記QRコードを読み込むと、サンプル動画を視聴できます。
ステッカー及び動画の複製は、お断りいたします。

◎事故防止重点「衝突事故の根絶」「よく見る！安全確認の励行」「追突・交差点事故の根絶」「構内・後退事故の根絶」